京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金貳圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（月刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久轉一郎

發行所 京城新報社 京城西署西小門通（電話六六三）

漢城より

北韓山生

（九日）

▲内地新聞は報ずらく、臺灣生蕃討伐の爲め戰死したる警察官は靖國神社に合祀せらるゝことに内定し居れるが當軍人と勞苦を同ふせる殉難警官に對しても合祀の途を開かんとて、平田内相は寺内陸相に協議する處あり、不日御裁可を仰ぐべしと、これ有るかな、

▲韓國に於ても、去三十九年滿洲に賊徒の蜂起せし以來、解散兵の暴動より引續きて各所に出沒せる暴徒討伐の爲めに戰沒せる軍人甚だ少なからず、殊に警官に至りては其身其職に殉せるのみならず、妻子も共に命を暴徒の毒手に殞したるもあり、彼等は實に家を擧て奉公の誠を盡したるものと云ふを得べく候、

▲去れば是等の軍人に對しては朝廷夫々救恤賜金の恩典を給ひ、身後の榮之に若かざるものあり、又警官に對しては政府は厚く其靈を弔慰し、其遺族を賑恤する事頗ぶる周到せり、夫れ然れども吾等は臺灣に於ける殉難警官の靖國神社に合祀せらるゝに至らんとの報に接し、此の内相及陸相の措置甚だ當を得たるを悦び、其の世道人心に益する處尠少ならざるべきを信ずるが故に、吾が韓國に於ける殉難警官をも前者と均しく恩典に浴せしめられんことを熱望するものに有之候、

▲人或は吾等の言議を難ずるものもあらん、而して其理由も亦多々有るべし去りながら、警官が一に軍隊と共に行動したると否らざるとの差は即ち之れ有らんも、其の生蕃討伐に從事せると暴徒討伐に從事せるとを問はず、一片奉公の誠と、其身の辛勞とは二者共に相等じからんのみ、且つ其の功績に至りても、吾等は聊かの異なる有るを見ず、即ち吾等が、二者均しく恩典に浴せしめられんことを希望する所以に御座候、

▲但し韓國に於ける殉難警官は韓國政府に傭聘せられたりしもの、韓國の爲めに命を致せるなりといふもあらんか道は大義名分以外の名分の詮索なりとせん、吾等は彼等が君國に盡せる忠義を大なりとす、

米國の抗議說

最近米國よりの報道によれば例の英米シンヂケート代表者ストレート氏は目下紐育華盛頓各地に在りて盛に日本に對し滿洲時局に關する抗議提出の運動中にして其主張する處は（一）淸國領土保全の宣言に違反すること（二）門戶開放の主義を蹂躪せることの二者なる由なるが我當局者の言明する處は未だ何れの方面よりも該運動に關する情報に接せざれどもストレート氏が折角シンヂケートを代表して諸種の投資事業を企劃したるに一として成功したるものなく本年に入りては錦愛鐵道問題に就き露都に失敗し英京に破れ而して此頃米國に歸着せる事故資本主に對する信用上但しは自己一身上の面目上必らず何等かの運動に熱中すべきは蓋し當然のことなるべし尤も其の裏面には米國政府部内のものも竊かに聲援を與へつゝありとの說は全然根據なき浮說なるべしと云へり何れにせよ時節柄注目に價すべし

南極探檢と當局

白瀨中尉の南極探檢用として軍艦磐城借用の件は海軍省に於ても敢てこれを拒絕したるにあらず只だ手續上學術研究の名稱の下に艦籍を文部省に轉換し文部省は更にこれを管船局に交附し茲に初めて探檢に使用するを得る筈なりしも彼のシャックルトンの航路を經過するは英米の地學協會に對して憚る處なきにあらず蓋し航海者が自己の發見經過したる航路を別人が踏襲經過するは英米地學協會の規約として制裁しある處なれば我文部當局者はこれに遠慮して今回の壯擧に直接に便宜を與ふるに躊躇したるなりといふ而して軍艦磐城の修繕はこれを砲艦の舊狀に復するには二十萬圓以上の費用を要するも單に航海用としての修繕に止め置くには二三萬圓もあらば充分なりといふ

日露貨物聯絡會議

白耳義にて開會されたる大陸旅客聯絡會議の爲め久しく中止し居たる日露貨物聯絡會議も愈本月十四日より再び圖們に於て開會する由にて開會の上は先づ會議に於て未決の儘に取殘されたる滿鐵對東淸鐵道間の特定運賃を協議し右終りて次第露國乃至商船會社の聯絡事項に就て協商する筈なりと云ふ因に鐵道院商船會社對露國との間に於ても特定運賃を協商する筈なれば其如何に協定せらるべきかは滿鐵の其と相俟て今後大に注目すべき事柄なりと云ふ

歐亞鐵道の聯絡期

過般白耳義にて開會したる西歐鐵道旅客聯絡會議に於て我國も先頭締結せる日露鐵道旅客聯絡條件を其儘歐洲大陸諸國間の聯絡に加盟することとなりしにより追々は新橋より通し切符にて西伯利線を經倫敦迄旅行し得べし而して其の實施期は露國本土との旅客聯絡を實施して後の事なれば今後尚多少の日子を要すべきも露本土旅客聯絡は遲くとも本年中には實施の運びに至る筈なりと云へば新橋對西歐諸國との通し切符も明年に入らば發賣せらるべきかと云ふ

拓殖局と新事業

●拓殖調査會設置の說●

拓殖局本年度の經費は臨時費として第二豫備金中より支出するを以て成るべく要求額を寡少ならしむる方針にて高々四万圓を超過せざる豫定なるも來年度に於ては各植民地と内地との關係に付き殊に綿密なる調査を要すべく經常費として約二十万圓位を計上するに至るならんとの事なるが元來臺灣は餘程以前より又韓國にても晚近は有力なる實業家が内地資本を輸入して商工業の堅實なる發達を遂げつゝあるに拘はらず滿洲に至ては實力ある資本家は漸次引揚げ民政署調査の人口は逐年增加するに反し商工業は依然として衰頹に歸せんとする傾きあり蓋し從來殖民地の盛衰は母國に於ける保護政策の當否により消長するは殖民史上拭ふ可らざる事歷に屬す例へば過去殖民地に於ける特殊の產物を忘却して外國より低率の關稅に由りて輸入する等の失ありしは一二にして足らず此等は殖民當路者の最も戒心すべき事情なるを以て拓殖局にては來年度より同局を中心として一の調査會を設置し各省より委員を蒐集して充分に内地殖民地間の關係を研究し出來得べくんば殖民奬勵の事項迄も調査する方針なりと某當局は語れり

講談 大岡政談 越後傳吉 第四十五回

旭堂南陵講



甲「ヨウオイ、庄左衞門の爺め來るなり威張つたことをいやアがるな 乙「さうだ己れも酒飲みに來やアがつた癖に……小旦那はまだ入來ませんかのう 庄「ア、倅かな、倅は早う來やうと思つても上の御用に忙がしい身体だ、もう追着け來るだらう 一同「小旦那入來ますかい」いふてるところへ得々として遣つて來たのは庄藏田舍方の探偵なんかは實に役人振たもので、もう眞個の探偵岡引の親分になると十手などは人に見せるのは嫌がつて、懷中へ納つて見せないやうにして置く、ところが庄藏はさうでない、乃公は上役人の一人だ、探偵で候ふと云つたやうに、天鵞絨の袋の中へ入つてるのを懷中から半分見せてる、長刀を打込んで今御用戾りといつたやうな風姿、下役を二人連れて來ます、傳吉の表へ來ると 庄「オイ、乃公ア一寸此家へ寄るから…… 二人「ハイ何でげすかい、此家へれ立寄りで 庄「アヽさうだ、れ前御苦勞だがな、郡奉行所の方へ行つてさういつてくれ、あの財布が良い鹽梅に此方の方へ手廻ることになつてますから日ならず庄藏の手から郡奉行へ引立てるやうにいたしますと斯ういつてくれ 二人「へイ〈〈宜しうございます 庄「大きに御苦勞だつたな 甲「イヤ何ういたしまして、親分御免なさいまし 乙「御免なさいまし」二人の下役を歸しました、れ梅が見ると自分の色男が來たもんだから、亭主は頭から馬鹿にしてゐるれ梅、多勢居る前をば憚らず 梅「アラマア庄さんよくれ入來になつたね」笑顏を作つて庄藏の前へパッと飛出して、尻を端折つたのを下すやら、パッ〈〈と衣服を拂ふやらイヤハヤ傍で見て居られない、傳吉が戾つた時には入口にポカンと立つて居た癖にひどい事をしたもんだけれども傳吉は知らぬ振で 傳「コリヤ庄藏さんでございますか、よう入來ました 庄「イヤ傳さん何うも芽出てへことでがすな、マア村から隨分江戶へ金儲けに行く奴があるけれどもれ前樣のやうに金儲けて戾つたものは一人もねゑ、村の若い奴等は些と傳どんを見做らつたら宜いんだ、ハヽヽ、今日は遲うなつて濟みません、ッと遲くなつてしまふた、傳どんこれ御上の御用先を仰付かつたもんだから繰合して來たんだ 傳「何うも有難うございます 庄「御免なさい」乃公ア上の探偵だといふ顏をして肩で風を切りながらズーッと奧へ入る、サア一同座つてる連中が庄藏を見ると急にバタバタと座り直しまして 一同「ヤア小旦那入來つしやいましたか 庄「イヤマア皆揃つてるな、相變らず御馳走のときは現金に寄るな 一同「又あんなことをいやアがるだ 庄「イヤ御父ッさん、大變に早うございましたな 又「ア、倅か、私ア今し方來た……何しろマアれ前方も倅があるだらう、此所の家の小旦那傳吉どんのやうな人間は稀だ、今日の酒は傳吉どんの御馳走だが、親達は少々買つて歸つて倅に飲ませ、些と利目があるだらう、この村方から出る奴に一人も碌な奴は出ねへから困つたものだ 一同「威張りやアがるな、あんなに威張らなくても宜いだ」すると庄藏が 庄「オイ〈〈久兵衞 久「へイ〈〈これは小旦那 庄「小旦那もやアねえぞ、汝ア先日乃公が表を通つたら二階でパチパチと妙な音がするだい夜中にあんな音をさしちやア不可ない、もうこの前に疾に縛げやうと思つて居たんだが、村方から繩付を出すのは嫌だから見逃して置いたんだ、百姓なら百姓ばつかり働いてろ、村の若い者を集めて賭博などするない、臭へ飯を食はすぞ 久「イヤ誠に濟まねえことで 庄「濟まねえことでねへぞ、少し氣を着けなきやア不可……オイ〈〈源道寺の和尚」源道寺の和尚小言いはれに來たやうなもの、庄藏の野郎十手風を吹かして威張りながら 庄「コレ源道寺の坊樣 坊「ハイ 庄「ハイちやアございませんぞ、乃公ア先日何か調べ物があつて行つたら年頭は三十二三だつた、一寸した女だ、ありやア何所から引張つて來たんだ、豈夫參詣に來なすつた女中の樣にも見ねなかつたぞ、餘り見とも宜いもんぢやアねへでがせう、そりやア仕方がねへ女を傍に置きやア置くやうに人目に注かぬやうに蔭へ置きなさい、段々横道になつて見せるやうになつて來やアがつた、大黑といふ奴は奧へ祭つとくもんだ 坊「イヤ誠にどうもはや……

第九期決算報告

貸借對照表

負債	金額
資本金	一五〇、〇〇〇
政府貸下金	[illegible]
貨幣整理資金貸下金	[illegible]
仁川金融資金貸下金	[illegible]
積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
建物消却積立金	[illegible]
職員積立金	[illegible]
未支拂配當金	[illegible]
寄託品賠償金	[illegible]
未經過勘定	[illegible]
假受金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

資產	金額
未拂込株金	[illegible]
貸付金	[illegible]
割引手形	[illegible]
有價證券	[illegible]
任置金	[illegible]
別段預金	[illegible]
保稅貨物取扱資金	[illegible]
建物	[illegible]
倉庫	[illegible]
土地	[illegible]
什器	[illegible]
滯貨整理勘定	[illegible]
典執物流込物件	[illegible]
保證金	[illegible]
假拂金	[illegible]
金銀在高	[illegible]
合計	[illegible]

損益勘定

一金一萬四千六百五十圓九十七錢 本社當期……
一金一万五千百七十六圓三十八錢 各出張所當期……
一金五千八百九十圓五十三錢 前期繰越金
合計金三万五千七百十七圓八十八錢
内
金一萬二千二百十九圓四十……
金八千四百五十七圓三十九錢 本社當期……
小計金二萬〇六百七十六圓……
差引金一萬五千〇四十一圓〇…… 當期純益金

此配當計算左の如し
金三千五百圓 積立金
金一千圓 建物消却……
金二千圓 別途……
金一千八百九圓（年一割二分……）
金四百五十七圓 任……
金六千二百七十五圓二錢 後期繰越金

隆熙四年六月三十日
漢城倉庫株式會社
社長 趙鎭泰
理事 崔思永
理事 成文永
支配人 林慶太郎

前記の各項調査を了して其正確なる事を保證す
監事 白完爀

東京電報

▲東海道大水害

連日降雨の爲め九日午前二時より東海道線不通となりしが鐵道專用電話は靜岡以西電話は島田以西不通となり又た遞信省の電信電話も不通となれり詳細は不明なるも鐵道院に達したる電報を綜合すれば二川、鷲津間は線路の土砂流出し掛川、袋井間は橋梁破損し用宗、燒津間は線路に水溢り列車運轉危險を來し列車は九日夜六時半新橋發一二等急行列車は辛ふじて通過したるも七時半九時十一時の各列車は途中停留の已むなきに至り上り列車は同夜六時半神戶發一二等急行列車以後各列車途中にて停車全く不通となれり不通線路延長七十餘哩に達す目下鐵道院は千三百餘名の工夫を出し復舊工事中なるも出水甚だしき爲め開通の見込み立たず目下の處被害の詳細は不明なるも東海道一帶の被害甚だしく因に本日午前に至るも靜岡縣下一帶は尙は降雨盛んなり
詳細は後報（十日）

▲學校生徒生埋

前日の降雨の爲め九日正午靜岡市外安東村市立靜岡商業學校寄宿舍裏淺間山崩壞し寄宿舍一棟破壞し生徒十四名埋沒せられたり（同上）

▲大博覽會豫算

來る五十年開會の日本大博覽會は古市博士歐米視察調査の上設計する筈なるが同博の經費は來年度より豫算に計上の都合なるも上院の一部は目前の時局に鑑み建築年度割に多額を見積らず或は年限を短縮して來年度に於ては計上せざるも可なりとの說あり

▲安藝艦試運轉

吳海軍工廠に於て進水したる戰艦安藝は來月中旬廣島灣に於て公試運轉をなすことに決定せり（同上）

▲番社降服申出づ

臺灣の二番社は降服を申出でたるに依り討蕃隊は最寄の勸告例に倣ひ交捗すべし

倫敦電報

▲生駒艦大歡迎

軍艦生駒はポーツマス着港非常なる歡待を受け司令官カーサー木大將以下熱心に歡待に努めつゝあり（十一日）

大連電報

▲安奉沿線水害

强雨の爲め河川出水及び堤防の缺潰等尠からず橋頭近山關修理工事今尙成らず線路損害數里に亘る（十一日）

地方電報

▲鐵嶺丸追悼會

昨十日午後六時より鐵嶺丸遭難死者追悼會を開く參集者日韓官民二千餘名恰も入港中の安東丸群山丸高知丸の船員も上陸參列し頗る殷肅に執行し式を終はりしは八時なりき（十一日木浦）

雜報

寺内統監の登廳

寺内統監は十一日も午前十時より統監府に登廳政務を視午後二時過退廳[illegible]

南極探險出發延期

白瀨中尉一行の南極探險隊は出發を來る十五日豫定の所船體借入の交涉纒らざるを以て當日の出發は至難[illegible]より多少の延期を見るべし而して南半球の位置に在りては十二月二十日迄は層面上に於て最も晝間長きを以て上より是れを見れば一月末若くは二月初旬暑氣最も強く此前後に於て南極點に達するを最好期と云ふべく從て[illegible]二三十日間延期し此好期に到着する樣出發すべしと

安奉鐵道の安全

安奉線輕便鐵道は由來列車の運轉上も輕易を旨とせるものにて遞信省の汽車運轉保定現定に示す處の變則なる命令權を執り居たるが近來流車發路數激增せるに至り萬一の場合將來の命令權にては危險を免れざるより今回之れを改めて票券式とて勾配急なる地點には電氣裝置の閉塞式信號法に據る事とせりと云へば從來往々耳にせし其他の危險ありし安奉線も今後は安全なるを得べしとなり

地方費の總歲出入

官制の公布は昨年にして本年度より實施されたる地方費法に基きて內部當局者が編製したる地方費歲出入豫算の經常臨時兩部を合せば八十八萬三千[illegible]十六圓八十六錢四厘にして該金は一府十三道を通じ如何なる豫算の下に使用せらるかを査察するに先づ費額の最高なるは土木費にして金二十九万千[illegible]五圓八十六錢內道路橋梁費の金二十一萬五千二百十圓三十七錢は主たる費目にして外に河川費調査測量費器具機械費等あり衛生及び病院費は金四萬千百八十三圓にして這は衛生費居留民檢査費の兩項目に充當し救恤及び慈善費金八千二百十一圓は災民窮民救助行路病者又は死亡人棄見收容等に關する諸費に當て勸業費金二萬六千九百十三圓三十九錢は模範農場費八千九百六十三圓餘蠶業傳習所費五千八百三十二圓餘農事試作場費四千三百七十七圓餘は重なる者にして外に農事講習費、物產陳列場費、農事、製織、水產、林業等の講習費にも使用さるゝあり教育及勸業費金四萬六千七百四十二圓八十五錢を一府十三道に等分すれば三千三百三十八圓餘と[illegible]他の費目額と對比して頗る少[illegible]なきにあらず府道官吏費金[illegible]百五十一圓四錢にして財產[illegible]百圓なり補助金獎勵費金十[illegible]十七圓六十錢內衛生土木勸[illegible]補助費として金十四萬九千[illegible]圓又獎勵費として金三萬八[illegible]四十錢を費消する譯なり地[illegible]費金七萬二千二百九十四圓餘[illegible]百三十圓之に豫備費金十[illegible]百九十四錢四厘を計上して[illegible]全部とし此通計金八十四萬[illegible]九圓餘となるが更に臨時部[illegible]費金六千九百二十圓餘補助[illegible]八十五圓教育費一萬四千[illegible]圓餘基本財產繰入金百圓種[illegible]供費六千四百八圓餘衛生費[illegible]公債費二圓合計して金三萬[illegible]十七圓餘となり經常臨時兩部を合して歲入全部の金額と同數字となるなり若し夫れ此の豫算に現はれたる數の如く毫末の差異無く歲入し歲出するに於ては蓋し地方政治の改善實に見るべきものあらんか

慶南方面道路改修

[illegible]道路は古來交通運輸上樞要[illegible]京釜鐵道布設以來一時衰退[illegible]洛東江岸地城の物資搬出は[illegible]となり同道路改修は日一日[illegible]るに至り就ては既報馬山鎭[illegible]化洞間約三里半を地方費に[illegible]する事に決し尙は國庫補助[illegible]外道觀察府は速成を希望し[illegible]其筋に申請し來り當局に於[illegible]議中なるが多分認可の運び[illegible]か工費は約二萬圓弱の豫算[illegible]は是非竣工せしむる筈なり

●韓國新聞取締變更

[illegible]聞に對しては警視廳と當該[illegible]意的の前檢閲を行ひ爲めに[illegible]多少言論の自由を束縛の觀[illegible]方是あるが爲めに新聞規則[illegible]かれ營業上非常の便利ありたり然るに今回警務總監部は這般の前檢閲を廢止して日本字新聞と同樣の取扱を爲し納本によりて檢閲を施行し若し違法不穩の記事ある場合は假借なく處分する事に取締を改正せり而して此旨新聞社に達したりと云ふ

●石造殿竣工と引繼

德壽宮內に在る石造殿は元總稅務司ブラウン氏在職當時の計劃に係り其の後關稅局の所管に移りて工事進行中なるが其間歲月を積み既に數年費を投ずる正さに二百餘萬圓の巨額に達し輪奐の美結構の雄韓國無比の大建築なり然るに此頃漸く竣成したるを以て近々[illegible]室御所有に引繼ぐ事となり目下其手續中なりしも尙は該引繼に伴ひ工事費の殘額三萬圓餘ある由なるが是亦同時に引繼がるべしと

●衛生幻燈と講話會

十二日午後七時半本願寺本堂に開催の衛生幻燈講話會には愛國婦人會員其他の有志は家族知人同伴平服にて出席されたく當夜の幻燈は虎列拉、赤痢、チブス、天然痘等に關する各種諷刺的、滑稽幻燈、映畫に付平易なる說明あり尙時間の都合に依り愛國婦人會所有活動寫眞中二三淸涼興味あるものをも觀覽せしむる由なり

●新任憲兵將校來着

憲兵中尉高橋虎次郞氏（平壤憲兵隊長林里分隊長）同中尉薄井宗次氏（義州憲兵隊澗川分隊長）同中尉有馬精秀氏（咸興憲兵隊端川分隊長）は何れも十日內地より着京十一日司令部に登廳したるが何れも近々任地へ向出發の筈也と

●冒險演說團の解散

曩に大邱協成學校敎師及生徒を慘殺し去れる暴徒に就ては同地大韓協會支部非常に激昂し聲討書を發布せるが更に同地靑年等は暴徒鎭壓を名とし冒險演說團なるものを組織したるに所管警察署は其擧の不穩を諭し解散せしめたり

●儒生協同會の擴張

一進會の後塵を追ひ其傍系として現はれたる元大韓儒生建議所の改名儒生協同會は此際大に會務の擴張を計らんと欲し總務千愚相、世錫範の兩名は日々同會に集合協議を凝らし居れりと

●韓人側の衛生講話

愛國婦人會韓國本部にては來る十五日午後七時半鍾路通皇城基督敎會靑年會館に於て韓人側會員其他韓人有志の爲め一回幻燈衛生講話會を開催す

●寧邊郡の境界變更

平安北道寧邊郡南薪峴面上九里中化翁江の右岸雲山郡に接續する地區は雲山郡南面化翁里に合する旨十一日の官報勅令第四十二號を以て公布せられたり

●敍任辭令

左の辭令ありたり

參政局事務官兼警視 齋藤金祐
免本官專任警視敍奏任官三等
任中樞院副贊議敍奏任官一等 從二品 李鳳魯
任中樞院副贊議敍奏任官一等 正三品 宋憲斌
內部技師 山內圭一郞
陞敍奏任官三等
度支部技師 有川善太郞
依願免本官
同上 西俣新吉
同
官立仁川實業學校學監 岩崎厚太郞
依願免本官
大韓醫院醫官兼敎授 金井豐七
依願免本官並兼官
平壤鑛業所理事 佐瀨熊鐵
陞二級

●明治大學校友會

明治大學校友會にては來る十三日午後二時より小宮次官邸に於て茶話會を開催し席上鈴木巴水氏の教育講談及校友諸氏の有益なる講演等ある筈なるが校友にして出席希望者は十三日午前迄に常任幹事高橋章之助小川勝平の兩氏に申込まるべく尙當日會費金五十錢持參せらるべしと

●佐治事務官歸京

平壤水道問題にて出張中の佐治事務官は愈々解決を告げたる爲め兩三日中歸京の筈なりと

●森聯隊長の入京

步兵第二十九聯隊長陸軍大佐森知之氏は十日入京せり

KOREAN PENINSULA

AS VIEWED BY A FOREIGNER.

外人の視たる半島（六）

一外人記述

▲余は半ば文明化せる南大門を見て尠からず快感を覺えた、ソウして過去五ケ年間に半島の事物全体が此南大門の如く文明化したるべきを信じて**日本政府の盡力に對する感謝**の念を起した、南山の綠、北漢山の凸兀、共に余の爲の舊知だ、余は此舊知の歡迎を受けつゝ京城の人となつた。

▲前にも言つた通り余が今回の入韓は觀光の爲ばかりではないのだ、併し同時に世の云ふ時局問題等には何も關係はないのだ、テラウチ、アドミニストレーションの目擊、過渡期に於ける半島事物の視察、之れ余が專念從事せんとするところだ、東洋のバルカンも今は昔と變つて居る、余の着眼も從つて變らねばならぬ。

▲ソンタクホテル、之れ余が京城に於ける當分の宿所だ、余は旅裝を解くと翌日から城內の各所を廻り始めた同時に舊友及び知名の人物を訪ひ始めた。

▲ドコを差置いても余が第一に訪ねたのが統監府だ、統監府の所在は元は景福宮の前であつたが今は南山の上だ、余はリキシヨーに後押を附けて南山へ登つた、茲に田舍のホテルに似た安ツポイ一時的のビルデングがある、ソレが統監府なのだ。

▲安ツポイ一時的のビルデング之れが半島の中央政廳としてはあまりにとドイ、ヨクモ見榮好きのプランス、イトオが之れで我慢をしたものだ、ハア判かつた、判かつた、ドコの保護國にも統監府のビルデングに永久的の物は無かつた筈だ。

▲門前に哨兵が立つて居つた、彼れの大きからぬ而かも緊れる軀幹と彼の日に焦げたる顏とは全然**ブルドツク**式だ、彼れの軍服は色褪せて甚だ振はずと雖も彼れの持てる銃は最新式の物だ。

▲一韓人曾て余に戯れて曰く統監府の門前に**黃禍**が居ると、エルローペリル、余はソノ戯言の何たるを解せなかつた、而し今日計らずもココに哨兵を見るに及んで心中に悟つた、嗚呼日本の哨兵、汝は靜かに門を守つて居る、併し**カイザル陛下**は汝の**眞價**を良く承知して居られる。

▲玄關に掛れば茲に取次人が居つた、余は彼に從つて刺をミストル、イシツカに通じた、ミストル、イシツカは其多忙なる中に在つて親切にも余を其事務室に延見された。

▲石塚君と余との談話は平凡に始まつて平凡に終つた、併し多くのインフオメーシヨンを君から得た、余は君の好意を謝しつゝ統監府を辭した。

京元線の起工期

鐵道管理局某當局者の言によれば京元線工事は既に本年度內より着手に決定したるが是に就き四月以來線路實測に着手し比較線等に就ても充分の精査を遂げ己に實測圖の調製を了り鐵道院に向け工事着手認可申請中にあり就ては同院の認許次第直ちに起工の運びとなるべく先づ本年度は約二十哩の線路を完成すべき見込にて着手さるべしと

●慶南地方害虫發生

馬山地方に於ては過般來霖雨の爲め昌原府一般浮塵子發生し殊に元鎭海郡方面に最も甚しきに付昌原府尹は其の管內各面に訓令し害蟲驅滅の應急手段に着手したる由右に付き同地金融組合に於ても農業技手を派遣し實狀を視察せしめ同時に各面長をして害蟲驅除方法を講ぜしむる筈なりと尙晉州泗川各郡に於ても同樣發生せる由

●三千浦の水產會社

慶尙南道三千浦の大野育二、三田村房郎、大浪磯助並に晉州の顯井安佳、西村久次郞の諸氏外五人の合資四千圓を以て今回同地に水產會社を創立し水產物の委託販賣並に生魚捕獲鹽干魚の製造及び賣買を爲す由にて本月一日既に其筋の登記を經たりと云ふ

●江原道市場賣上高

江原道は二十五郡より成り而して各郡に開かるゝ市場は總じて三十八箇所なるが開數は一箇月に一回なるあり又二回なるありて通計すれば六十三回となり是等の市場にては賣揚金は總計百三十四萬二千二百四十五圓なりと

●井上東拓理事出張

東洋拓殖會社の井上理事は凡そ二週間の豫定を以て來る十二日忠南及び全北地方視察の爲め出張の筈なるが用向は日本人よりの農事視察團も來る九日渡韓の筈故之れが準備も含まれ居れりと

●電鐵復線の開通期

既設南大門古市町間及び南大門鐘路間電車復線に伴ふ電柱及び電線の轉設工事は目下着々進捗中なるが來九月上旬迄に全部竣成し同十月頃より復線開通の運びに至るべしと

●武田鑛業所長歸朝

武田平壤鑛業所長は十一日午前九時南大門發の列車にて下關に向ひたり

公人私人

▲上田直太郞（憲兵中尉） 入京中の所十日釜山へ
▲吉本淨（同上） 同上
▲薄井宗治（同上） 十日入京旭旅館へ
▲高橋虎次郞（同上） 同上
▲有馬精秀（同上） 同上

汲水問題漸く解決

久しく擾亂を極めたる平壤の水道對汲水夫問題は去る九日夜漸く解決を告げたり十日より水道の給水販賣は內部と契約を締結せる四名の日韓人販賣人の手による事となりたるが九日は午前九時より平壤警察署に汲水夫全部二百五十餘名を召集し西角水道事務所長佐治內部事務官松本警察署長其他關係當局者請負販賣人及び汲水夫の諸願依賴者たる森辯護士等列席の上汲水夫に對しては彼等が所有する權利株の文券金額面の三分の二を販賣人より贈與することゝなり又政府よりは汲水夫等の希望により鑛業所或は廣梁灣鹽田に使役の周旋を爲す事となり此の起きを一同に傳へ又西角所長を始め當局者交々立て懇篤なる訓諭を與へたるが一部の反對者不服を唱へたる爲め一同其聲に雷同し場內騷擾め立ちたる際何者か號令めきたる言葉を發するや一齊に鯨波を擧げ場外に馳出んとするを警官入口に立塞り戶を鎖し制止せんとしたるも力及ばず彼等は戶の硝子を叩き破り戶を排して場外に出しかば警官は直ちに其煽動者らしきものを取押へ一時留置所に留め夫れより他の有力者を別室に招き懇々說諭を加へたるも彼等は最初森辯護士に依賴せし際販賣人の契約を解きて汲水夫一名より各自水道に二圓若くは二圓五十錢を納入して引續き營業するか左なくば權利株額面の全部を支拂ひ買上らるゝかの契約あるを以て額面三分の二にては容易に聽入れず遂に松村警務部長も警察署に出張し種々利害を說き又は訓戒を與へ漸く納得の樣見へしかば午後七時再び一同を集め今回若し晝間の如き不穩の行動を爲したる場合容赦なく處分する手筈を定め警部巡査全員を以て場の內外を警戒せしめ橋本警察署長は嚴然として先刻申渡したる條件にて聽入れざる者には今後水道一錢たりとも與へざると同時に如何なる窮狀に陷るとも一切救濟の途を持らず又本官の見る所茲に集る二百五十餘中に少數の不逞漢ありて不服を唱ふるの外皆心中滿足を表し居れる如し其少數の不服者に余儀なく雷同せしならんが此際尙ほ雷同不服を唱ふる如き事あらば警察に於ては斷乎たる處置に出る可しと述べて服從を勸め杉村警察部長續て立ち嚴格に署長の申渡に服せざる者に對し本官は二ケの處置あり一は一錢の金錢も與へざると一は直ちに捕縛する事是にりと溫情を含め懇威並び說き訓戒したる爲め纔に集合の騷擾かならざる言動見へたるも斯く嚴重なる態度に遭ふては一同も威壓せられ承諾の旨を申出で茲に漸く解決を見るに至りたるが授與すべき金員は之を農工銀行の貯金となし其貯金帳を各汲水夫に渡す事とし九日夜解決と同時に貯金通帳の授與に取掛り徹宵する及びたるが授與金を貯金帳に代へたるは彼等が濫費の結果衣食に窮する事なかしめんの爲に外ならず貯金拂下の際は警察署長に其の費途を申出で署長認印を乞ふに非れば銀行に於て拂渡さゝる事にせりと

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
十一日	八五、五八六、五四	四四四

▲治外法權▼

時局問題の進行に付て知りたい知りたいとあせつて居る連中が幾らもあるが、れヌシ邊が知つて何になるか▲志士の橫議、策士の運動、明治十五年以來ヤリ盡したではないか、今となつては當局を信任して居れば良いのだ▲內地の各新聞は相變らず半島に關する記事を揭げて居るがドレもコレも要領に距つたものばかりの樣だ、併し時事新報の記事だけはドコから出るか知らぬがハット思ばせるものが多い、殊に八日發行の同紙に於て面りだ▲多くの朝鮮屋が目下馬關迄來て半島の風雲を見て居るソウだ、イクラ彌次ツテも京城までは響かぬ▲本町通り辻屋本店のショーウインドーに滿城美術品工作所の製作品が飾付けてあるのを見た、神仙爐、水入れ、杯等中々出來が良い樣だ、ドウカ京城の一物產にシタイ▲京城民團議員の選擧が段々近まつて來る、聞けば候補者の數が百人からあるとの事だ、之れでは連名菊地は當地の世帶を片附けたソウだ、當選の運動は出來まい▲大韓醫院長の大勳位を貰ふ迄辛抱せぬとは氣の短かい事だ▲木浦在留官民は鐵嶺丸遭難者の爲に法要を營んだ、之れがホントーの同情の淚だ。

●平壤附近農作状況

本年に於ける平壤附近の一般農作物狀況を[illegible]本年[illegible]適當の降雨を欲したる爲め小麥は二三割大麥は三[illegible]不作なりしも其後間もなく降雨ありたるより米作は幸ひ順調の發育を得るに至り且粟稷大豆等其他の作物は頗る豐作なりし爲め麥の不作に對する些少の損害を回復したるのみならず目下の狀況にては大体に於て成績良好にして就中大豆の如きは本年は之が輸出範圍擴大し滿洲にかけものは歐米に向ふ事となり日本內地への輸出は殆ど絕たるを以て本年春期に於けると等しく且同期に於て之に依りて得たる利益を知り居れば盛に日本內地へ輸出せらるべければ勞之等の點をも加算し[illegible]

●倉庫品の比較狀況

韓國興業會社[illegible]扱狀況に就き本年當時と同昨年に於ける比較を聞くに元來同所に於て在庫品韓人側にては穀類を重なるものとし次に葉煙紙等にて本年は麻布は來らず[illegible]況に就ては本年の昨今は昨年當時に比して多く即十と六位の差ある趣きな[illegible]

●平壤附近農作狀況

本年に於ける平壤附近の一般農作物狀況を聞くに本年は春季に於ける適當の降雨を欠きたる爲め小麥は二三割大麥は三分の一位の出來にて不作なりしも其後間もなく降雨ありたるより米作は幸ひ順調の發育を得るに至り且粟粒大豆等其他の作物は頗る豐作なりし爲め麥の不作に對する些少の損害を回復したるのみならず目下の狀況にては大体に於て成績良好にして就中大豆の如きは本年は之が輸出範圍擴大し滿洲に於けるものは歐米に向ふ輸出となり日本內地への輸出は殆ど絶たるを以て本年春期に於けると等しく且同期に於て之に依りて得たる利益を知り居れば益々日本內地へ輸出せらるべければ旁之等の點をも加算して一般韓民等は期待し居れりと

●倉庫品の比較狀況

韓國興業會社平壤出張所の倉庫品取扱狀况に就き本年當時と同昨年に於ける比較を聞くに元來同所に於て在庫品關するものにて韓人側六分日人四分位の割合なるが之が貨物の種類に就ては韓人側にては穀類を重なるものとし次に葉煙韓紙等にて本年は麻布は來らずして穀類は少く其他は韓人側と同じく葉煙等にて一般に於ける在庫品取扱狀况に就ては本年の昨今は昨年當時に比して多く即ち十と六位いの差ある趣きなるが[illegible]たる爲め一般に於て比較的出荷多しと

戀油揚稲荷利生

▽南山樓南勇が事

此所新町遊廓は南山樓に高襟女郎と綽名を呼ばるゝ女ありけり生れは横濱本牧町本名を奥田きせと云ひ本年二十五の女盛り何うした理由で此樣稼業をするのか實際の所は本人ならでは知る人稀なりとかや其樣ことは何うでも善いとして昨年の三月三ケ年と三ケ月の年期にて身附き金三百五十圓にて同樓に住み込みしと南勇とこそ名乘つた打つて出でたるものなるが女の數は多けれど見らるゝ面の寡い京城の有難さには此妓の面が十人並以上に通用し張店姿も意氣に見ゆるより間もなく同樓にて賣っ妓の一人に數へらるゝに至りしこそ芽出度かりける次第なるがさるにても此の妓生まれ付いてのお辨茶羅ものなるより客も成る可く口達者の人が好きな處から同所の口入屋に辯護士の上等なのを一人世話して下さいなと注文に及んだるに口入屋平生ならへイ宜しいど安請合に受け込んで宜い加減な代物を掴ますべき所だが此の頃メッキリ警察の取締が嚴重なるより僅かのことで營業停止でも食つては引き合はずと柄にもなく正直振つて曰く此の新町へは上等にも下等にも辯護士と云ふものは參りませんお魁方が辯護士と持て囃すのは大概代書人にて夫れから上のは翡翠や花月のお女郎を買ひますよと云はれてヤイハナンとゆうと驚いたり洒落たりした末に案じ附いたが例の稲荷樣平素油揚を供へて置くのは斯ふ云ふ時に御利益を願ふが爲めなりと早速日參に及んで辯護士をお授け下さいと生揚を一枚宛餘計に上げて拜んだれ陸か或夜の事名指しで登つた金緣目鏡の年の頃は二十七八の洒落男あり此の男饒舌ること中々なるにぞ南勇はヨボが砂糖を貰つた程に喜こび此れぞ油揚げの御德なりと感謝の涙ならぬ涎を垂らして打ち喜び御職業はと尋ねたるに明法學士辯護士櫻井なりと高らかに呼ばはつたるに此れが理想の我夫なりと特別に待遇し歸し稲荷樣へのお禮參りにモ一枚殖して三枚とし其の後は櫻井の登樓するのを樂みにして居る內に夫婦約束も出來たと見へ事件さへ片附けば身受けをして貰ふのよと朋輩や主人へも吹聽し坊主が葬を擔ぎ込まれた程に喜び居ると云ふが櫻井の本體は刑事辯護で有名な木尾君の事務員にて明法學士も自稱だと知つたら乾皮戀くから此の事だけは知らさぬ樣に皆さんお願ひ申しますよ

無情亡夫の兩親

▽泣く〳〵警察へ說諭願ひ

一生を頼みし夫に死別れて涙の痕の干く間も無きに沒義道なる舅の無情なる扱ひに堪へ兼ねて龍山警察署へ說諭を願出でし女あり此の女は鹿兒島縣始良郡敷根村字龍島田幸太郎五女きよ（二七）といふ者にて鐵道官舍に下女奉公中昨年七月媒酌する者ありて龍山元町二丁目古島伊八長男八郎とて龍山鐵道工場の職工手傳を爲せる者と兩親の承諾を得て結婚せしが其中きよの郷里に不幸ありて少許の金を送金せし爲めさらでも不足勝なる活計の立行く樣も無き窮乏を來せしよりきよは夫と相談の上本年二月より京城獨立門通一丁目熊野某方の下女に棲込み時々歸宅して夫に會ひ互に慰め勵ましつ儉約に儉約を重ねて幾許の金を貯へ一日も早く同棲せんものと幵を樂しみに働き居りしに夫伊八は四月二十九日より病氣に罹り甚だ氣遣はしき容体なるより五月二日きよは奉公先より暇を貰ひ僅か計りの蓄へを以て藥餌は勿論寢具等に至るまで買調へ心の限り看護せし効も無く夫は其五日といふに死去せしかば心計りの野邊の送りも涙の中に濟して爾來舅姑の許に在りて忠實々々しく事へ居しが悲しみの中にも月日の經つは早く夫の四十九日も過ぎたる去月十七日鐵道救濟組合より二百餘圓と管理局より八郎の積立金六七十圓を下渡されたりしに夫迄は男面も人並なりし伊八は急にきよにつらく當り此頃に至りて僅かに十三圓の端金をきよに當行ひ歸國するなと怒うなりと勝手にせよと突出さんとせしにぞきよは途方に暮れてさてこそ警察に說諭方を願出でしなりと

女振り

塚本靖遠氏夫人　塚本はま子

久しく御意得ざりし女振り子今日は塚本の奥さんのお伴をして罷り出でた、塚本靖遠君は二十七年出の農學士で目賀田男の財政顧問時代に招聘せられて來城されたのであるが制度の變革と同時に度支部技師に轉じたのである、夫人も同郷の福岡であらるゝはま子さんは本年四十二歲東京女子高等師範校の出身で卒業後神奈川縣立橫濱高等女學校の教諭を拜命せられた現韓銀總裁市原盛宏君の令孃なぞもはま子敎諭の薫陶を受けられたのである、三四年前靜岡市の高等女學校教諭に轉任せられて現在に及んで居る、お子供衆は男女取り混ぜ五人在んなさるが悉く夫人が引き受けて其の監督の下に勉學せられつゝあるのである、性質は極く靜で而して自重心に富で居らるゝから敎育家には持つて來いである、御職掌からさは云へ夫人は靜岡に靖遠君は韓國に西と東に離れ〳〵に暮されること思へば何んだかお氣の毒な如であるが古人も既に言へるが如く竹密なりと雖も流水の過ぐるを妨げず山高しと雖ども豈白雲の飛ぶてを礙へんやで道遠しと雖ども鐵路の通ずるあり海深しと雖ども聯絡船の通ふありて年々歲々暑中休暇を利用して夫人はいゝこはいしを慕ふたりひめ星の夫れの如天の川ならぬ南山麓の官舍を訪れらるゝのであるからチッともお氣の毒なことはないのである、本年も既に來城せられて居る、從つて「年を經てまれにあふ夜のあけゆけばみるひとくるしたなばたの絲」との嘆聲も無用である、左樣云へば今日は正に舊暦の七月七日。

惡店員の橫領罪

▽主人の金で藝妓狂ひ

各商店の店員等が紳士氣取りにて新町遊廓若しくは料理屋飲食店に於て身分不相應の遊興を爲し延いて主家に迷惑を及ぼすものあるは敢て珍らしき事にもあらざるが玆に惡運盡きたる惡番頭こそあれ大分縣下毛郡中津町生れ原籍東京府麻布區笄町百四十番地當時本町三丁目明治屋雇人間利子濟（三四）は本年六月一日より本町三丁目明治屋に店員として雇はれしが最近に至り身分不相應に大和町料理店井門梅の家或は新町遊廓皆春樓井門支店等に於て金錢を浪費するを以て南部署長野刑事は怪しと認め注意を怠らず彼が非行を探偵せしに渠は嚮きに永樂町藤園が閉店するに際し各債權者に對し支拂ふ可き金百四十餘圓の分配支拂方依頼受けたるも之を橫領費消し又明治屋より炭商店外二十七店に支拂ふ可き金五十七圓六十五錢並に漢城病院炊事係より明治屋へ支拂ひ受く可き金三十四圓十二錢を橫領費消したる事は具對的に證據掛り居るが此の外にも店の金を掴み出したるは幾何か不明なる可く殊に井門樓にては明治屋の會計主任抔默法螺を吹き遊興費二百餘圓の支拂不足ありと以上の事實に因り長野刑事に逮捕され檢事局に送られしが兩角檢事の手にて昨十一日起訴せられたりと

故伊藤公の墓地

▽玉垣も碑石も建築中

近く正一位を贈らるべくやに傳へらるゝ故伊藤公の墓地なる大井町谷垂は附近に新築せられたる休憩所又は草花屋は七八軒あれども健忘なる世の全たく人影を止めず周圍の玉垣は目下大工事中にて同時に墓碑も建設中なるが從來竹垣を以て繞せし周圍を悉く花崗石にて高さ六尺以上に積上げ中央の墓標も「樞密院議長從一位公爵伊藤公之墓」と有りし棒杭を左側の傍に移し中央を五尺立方位の大理石にて積み上ぐると云へば竣功の曉には實に一大偉觀を呈すべし

僞造五圓紙幣發見

▽何人にても注意肝要

八日午前十一時頃美服を着けたる韓人一枚の韓國五圓紙幣を韓國銀行鎭南浦出張所に銀貨と交換し吳れと請求したるが眼光鋭き銀行員は僞造紙幣なる事を看破し早速取り上げて同人と共に警察署へ送りたるが同人は後浦洞韓八町居住林能善と云ふ者にして田舍の某より交換方を托されたりと明言し居るも警察にては由々しき事となし目下引續して嚴重なる取り調べを續行しつゝあり而して其筋は此犯人が韓人か邦人かに就き大に頭を苦しめつゝありと云ふ個人間にても注意こそ肝要なり

コレラの流行地

▽日韓人一般の注意を促す

時節柄傳染病の襲來は最も注意せざる可からざることは云ふ迄もなきが目下虎疫の流行する處を示せばカルカッタに千三百四十四人、孟買に三千五十四人、バタビヤに千百十九人、サマランに三千餘人、マニラに九十六人の死亡者ありと云へば日韓人は之を未然に防ぐ心掛けなかる可らず

●女郎に惚けた賊　山口縣熊毛郡淺江村大字賀光寺二千六百七十九番戸當時龍山榮町十八番戸松江嘉七方鐵道工場職工高橋七殿（三七）は桃山遊廓入船樓娼妓九重に惚け逢ひたさの餘り惡心を起し本年四月二十八日午前二時三十分頃龍山淸水町大工市原經任方に忍入り金四十二圓を窃取したるを手初めとし其他十一個所を荒し全部九重に打込みたる事龍山署に探知せられ檢事局に送られしが昨十一日京城裁判所に於て多田判事伊東檢事の掛りにて懲役一ケ年に處せらる

●危險なる兩大關　十日午後八時三十分龍山下馬碑契七十統一戸八夫妻順元（五七）方より出火せしも龍山署より竹村巡査部長巡査補を率ゐて馳着け附近の韓人と協力して消火に盡力物置小屋一棟を半燒にしたるのみにて鎭火せり原因は通行者の煙草の吸殼より燃付きしならんと通行者は何處といはず注意すべきことなり▲龍山櫻田町十九番戸の二濱島尹松長男武夫（十二）は此程より腸カタルに罹り居しに去十日より赤痢に變症したりと

●盗だ丈で四ケ月　奈良縣北葛城郡湯淺野村大字槻山當時住所不定坂口菊松（三二）が本月六日午前二時頃本町二丁目吳服商桑原商店に忍入り反物數十反を窃取逃走中本町派出所巡査に怪しまれ途に南山町三丁目翡翠樓前にて逮捕せられし事は既報の通りなるが京城裁判所に於て審理の末昨十一日多田判事兩角檢事の掛りにて懲役四ケ月に處せらる

●犬を抱て訴らる　仁川本町三丁目トルコ煙草商會より一昨日の午後九時頃泥棒を取押へたりとの訴出に接し係警官出張して取調べしに右賊と云ふは仁川花町の大工職黑田伊太郎（三八）と稱し同商會の飼犬が餘りに愛らしければ之を抱きあげたるを見て言語不通より右商會員の外人が的切り泥棒と誤解せしものと判り訴訟の上放還したり

●傷者ヤアーイ　十一日午前七時三十六分發朱安驛長より鐵道管理局への電報に依れば同驛と梧柳驛との間に於て二十五才位の日本人男子一名軌道外に撥ね飛ばされ重傷を負ひ悉め居る由急報に接し警官同驛現場に出張せしに何者か列車に觸れ傷きたるやうの形迹はあれども件の負傷者は影も見へざりしと

雷風一行の劍武術を見る

▽初日の歌舞伎座

浪花節や源氏節の武士道鼓吹は虫齒の毒になる如な氣がするので成る可くちやない全然出掛けなかつた拙者も日比野一流の劍武術で士氣鼓吹とある歌舞伎座を見ないとあつては先祖にも濟まない氣がしたので當年五歲になる子供を伴れて規定の七時と云ふに棧敷の一角に陣取つたが小供は稽古試合中に寢て終つた拙者と志を同ふする方々も尠なからぬと見へて八時頃には既に七分以上の入を見たのは雷風其の人の爲めでなく何となく心強く感じた數番の稽古試合や長刀と鎖鎌等の試合があつて後待ち兼ねた門弟の神刀流居合の型がある劍武がある劍尖相觸れて火花を散らす一種爽快の念を禁じ得なかつた雷風君の吟聲は一昨年に比して少々細くなつた樣だが聲に艶が出て慷慨の態を增した劍武に至つては愈々老熟した當夜は南洲先生作の大聲呼酒と橋本先生作の殘月滴露と更に附錄として龍馬斬老松影の邊の氣合神に入つたものだ先生の給見行とを行つたが就中拔劍欲其の居合術に至つては云ふ丈け野暮である鬼に角一種の悄氣拂拭劑として雷風君を歡迎し併せて諸君に之れを推奬する（〇〇生）

目と耳

▲壽座　合同劇十二日の代り狂言は（第一番目）新派「義俠の花」幕なし十場（第二番目）喜劇滑稽怪談「雨夜之傘」本雨使用にて御覽入候となり

▲浪花館　十二日廣八一座の代番組御祝儀寶の入船（入登）朝顏日記舟別れの段（廣吉）朝顏日記濱松小家の段（越濱）鎌倉三代記（此重）太功記十段目（此千代）阿波の鳴門（仙春）日吉丸小牧山城中の段（隅照）三勝半七酒屋の段（越春）增補菅原松王下屋敷の段（廣八）大切れ半長右衛門帶屋の段（總掛合）

●倭城臺演奏曲目　來る八月十四日（第二日曜日）午後七時より倭城臺公園奏樂堂に於て例の如く催さるゝ陸軍々樂隊第三回演奏曲目左の如し
▲第一部　行進曲武學の徒弟（作者ブロン）序樂唱歌師ストラデラ（同フロトー）舞曲南方の薔薇（同ストラウス）長唄鬪越後獅子（同陸軍々樂隊）▲第二部　舞曲松明行列（作者メイエルベール）歌劇リゴレット（同ヴエルヂー）行進大山元帥（同山本樂長）君が代

今日の運勢

八月十二日（舊七月七日）三碧先勝己酉除△一白金屬の業務及談合共同連帶の事に吉旅行及運送注意の事△二黑一度にて効果擧らざる日とす建築動土に吉新事見合せの事△三碧家庭及親族上の事に煩累あり中傷誹謗に遭ひ易し新事控へ目の事△四綠競爭札槧の苦しき日とす色情の破れを戒しむ△五黃紛爭遺失防ぐべし建築動土に吉新事旅行見合せの事△六白賣買貸借及不動產上の事齟齬多し新事旅行見合せの事△七赤誘引勸獎により損害受け易し新事旅行移轉見合すべし△八白利權の衝突紛爭起り易し談判婚談起工開店見合すべし△九紫旅行起工開店見合すべし其の他大抵進んで吉

●天氣豫報（自十一日午後六時至十二日午後六時）
北東風晴
十日（華氏）最高溫度 八七、一　最低溫度 六八、九